

平成29年第10回大田市教育委員会定例会会議録

平成29年9月22日午後3時30分、大田市教育委員会事務局において、第10回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成29年9月22日 午後3時30分
閉 会 平成29年9月22日 午後4時35分

2. 出席委員の氏名

教育長 大國晴雄
委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

川島総務課長 和田学校教育室長 坂井学校教育室主査
渡邊学校給食センター長 西村社会教育課長 遠藤石見银山課長
後藤人権推進課長 西村山村留学センター長 森本課長補佐

6. 開 会

大國教育長開会を告げ開会

(1) 第9回の会議録について

- 教 育 長 第9回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。
- 川島課長 6ページの全国学力調査結果速報がありますが、訂正箇所があり、会議後資料の訂正文をお送りさせていただきました。6ページの記述は間違った資料をもとに説明していますので、本日議題の報告にあげていますが、改めて全国学力調査結果速報の説明をさせていただきます、記述を本日の内容と変えさせていただきますと思います。
- 森本課長 9ページにある日付を9月22日に変更してください。
- 教 育 長 その他訂正箇所等ありませんか。
- 委 員 員 (なし)
- 教 育 長 修正点を修正のうえで、第9回の議事録については承認とさせていただきます。

(2) 教育長の報告について

- 教 育 長 本日の議題・報告事項に入ります。議題23号から報告事項「第18回難波利三ふるさと文芸賞応募状況について」までを公開案件とし、その後、「教職員の人事権移譲問題について」を加えていただきたいと思います。なお、この件につきましては状況が変化しておりますので、非公開案件とさせていただきます。
- では、経過報告に入ります。先月は8月24日に定例教育委員会を開催しておりますので、それ以降について報告させていただきます。
- 25日市町村教育委員会連合会としての、県教育委員会への要望を致しています。
- 27日しまね映画塾in石見銀山オーデイションが仁摩の農村環境改善センターで開催されました。同日天領さん大森会場が開催されました。
- 29日ミサイル対応について、市、教育委員会でも対応に当たっています。
- 9月1日から市議会本会議が開催されています。6日7日に一般質問がありました。今回は教育委員会関係に大きな質問はありま

せんでした。

6日市内中学校弁論大会が開催されました。議会の一般質問と同日のため、福間委員に教育委員会を代表し、出席していただきました。

8日映画塾部会が行われました。地元の映画塾関係者が集まり、会議をしました。

14日総務教育委員会が行われました。8月の定例教育委員会でも申し上げましたが、琴ヶ浜のガイダンスに付けるサインの件、またふるまい向上の予算を審議いただき、可決をいただきました。

15日28年度の決算について決算特別委員会が開催されました。教育委員会の決算については19日に審査をいただきました。賛成多数で委員会の方で可決をいただきました。

16日17日18日しまね映画塾撮影合宿が行われました。台風の影響で撮影時間を繰り上げるなどして、3日間の撮影合宿が終了しています。仁摩の農村環境改善センターを本部にし、大田市のサンドミュージアム、琴ヶ浜を中心とする仁摩町内、温泉津の沖泊まりを中心とする温泉津町の一帯、大森の町並み、银山一帯、大森小学校でのロケなどが行われました。

21日秋の交通安全運動で、一中、大田小学校前、大田市駅で街頭啓発を行いました。私は一中へ伺いました。生徒たちの挨拶がきちんとできており、嬉しく思いました。同日から22日にかけて日本遺産文化庁協議が行われています。田中部長と遠藤課長が出張しています。

経過報告は以上です。弁論大会の感想をお願いします。

福間委員 かなり手が加えてあると思いました。以前は原稿を読んでいる生徒がいましたが、最近は原稿を丸暗記し、自分のものにしていきますが、発表の強弱などについてはもう一歩だと感じました。内容についてはとてもいいものが出来上がってきていますし、選挙権についての発表があったのは良かったと思います。

竹下委員 「選挙権について」や新聞の報道に目を向け、考えを深めることをさらに進めて欲しいと思います。また自分自身がいじめにあった体験や、自分の父親ががんで亡くなったことなど、向き合うことが難しい事柄について、真摯に向き合い、皆の前で発表することはとても勇気のいることですが、それを行ったことに対して良い講評でした。

- 梶 委 員 西中代表の生徒さんのしゃべり方が非常に自然な形でとても良かったです。皆さん素晴らしい内容で、態度も立派でした。三国志のポスターを活用している生徒もおり、そのような弁論は初めて見させていただきました。
- 教 育 長 ありがとうございます。その他報告について補足等ありませんか。
- 川島課長 9月6日に教育魅力化ということで、島根県が進めているプラットフォームの三瓶研修が、国立三瓶青少年交流の家で行われました。私、和田室長、魅力化コーディネーターで参加し1泊しました。県内から10町村の方にお越しいただき研修を行いました。考え方や教育魅力化をどう進めていくのか、具体的なプランはどうするのかなどを、各グループで考える機会をいただきました。夕方には副市長、教育長、教育部長にもお出かけいただき、交流会を行いました。11月3日に松江市で魅力化のフォーラムが行われ、大田市も発表を行う予定です。
- 西村課長 9月7日本因坊道策の囲碁の関係で、プロの方にお越しいただき、仁摩小学校で囲碁の授業が行われました。多くのボランティアの方にも参加いただきながら授業を行いました。9月28日には高山小学校での取り組みを行う予定としています。
- 教 育 長 映画塾撮影合宿についてですが、11月23日午後には市民会館で批評、発表会、交流会が開催されます。例年12月末にTSKで放送されますが、有料のCS放送で全国展開をし、全国からの感想等も来るようになっているそうです。
- 教 育 長 その他補足等ありませんか。
- 委 員 (なし)
- 教 育 長 では経過報告については以上で承認ということに致します。

(3) 議題

- 教 育 長 それでは議題に入りたいと思います。議題23号学校再編と教育の魅力化について説明させていただきます。定例教委の度様々に検討されていますが、これからの再編の在り方や現在取り組んでいる教育の魅力化について、関係する皆様方と意見交換会を開催したく、日程調整などをさせていただいています。まず年内で小中学校の保護者の皆さんと意見交換会をし、保護者との意見交換会の状況を見て、次の意見交換または説明の場をもたせていただければと考えています。意見交換会について総務課から説明をお

願います。

川島課長

意見交換会について説明させていただきます。資料をご覧ください。タイトルを学校再編と掲げますと、保護者の方も身構えられますので、「これからの魅力ある学校教育のあり方について」の意見交換会というタイトルでご案内させていただきます。

1、開催目的についてです。(1)市全体、学校の現状や課題などの情報をしっかり説明し、共有する場。(2)教育魅力化を中心に教育委員会の取り組みを説明する場。(3)近い将来の地域の担い手となる現在の子育て世代が感じている、子ども、地域に対する率直な思い・考えを聞く場とするための開催です。

2、概要についてです。10月5日から12月5日の2か月間にわたり、19か所を回る予定です。対象者は各学校の保護者で、開催時間は午後7時から午後8時30分です。会場は各学校の会議室や教室、または多目的スペースです。出席者は教育長、教育部長、総務課長、学校教育室長、主査、総務課長補佐、担当です。教育委員の皆様方には、各会場1名程度の出席をお願いしたいと考えています。案内・周知については、学校を通じて保護者へ案内文を送付、教育委員会のHP、10月3日開催の校長会で概要説明、依頼を行う予定としています。

内容についてです。現状・将来どうなるのか、大田市全体やそれぞれの地区、学校の状況がどうなるのかをわかりやすく説明したいと思っています。情報を共有することによって、他人事ではなく当事者意識を持ち、将来のことを見据えてのご意見をいただこうと考えています。内容は5点あり、約30分で説明を行い、質問を受けることを前段にし、意見交換を約1時間行います。この内容については定例教委後、皆様にご意見をいただければと思います。

スケジュールの資料をご覧ください。委員の皆様にもご都合をお聞かせいただきながら、各学校との調整を図り、表を作成しました。10月5日、10日ですが、教育長以下ほぼ全員が参加し、全体の流れを統一していこうと考えています。その後資料の修正等の協議を行い、本格的には18日から二手に分かれる予定です。事務局から3名、委員の方には1名ずつ分かれていただきたいと思います。温泉津小と仁摩小については西中も合同で行う予定でしたが、参加者が少ない為、温泉津と仁摩に分け、西中について

はどちらでもご参加いただける形にしています。対象校の中で北三瓶小・中学校、志学小・中学校、大森小については、小規模で、地域的な思い入れもありますので、あえて1日1校で回る予定としています。委員の皆さん方のご出席については、定例教委後調整をさせていただきたいと思えます。

教育長
委員
教育長
教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

(なし)

ではこの件については承認ということにいたします。

続きまして、議題24号平成28年度教育委員会の事務に関する点検評価について、総務課からお願いします。

川島課長

平成28年度教育委員会の事務に関する点検評価について説明させていただきます。

資料1ページをご覧ください。目的については、法律に基づき、点検・評価を行います。昨年度までの方法と変更したところは、今までは課ごとの事業成果報告の形で整理をしていましたが、教育ビジョンが策定されたことから、今回は教育ビジョンの基本計画に沿った項目で、表記を改めています。項目については教育ビジョンの施策ごとに点検・評価という形にしています。前段で基本計画を記述し、具体的な事業も列挙しています。それに対し、昨年度それぞれどのように取り組んだのかという順番で並べています。今まで主要政策の成果を議会報告していますが、事業ごとの詳しい内容が記載してありますので、教育部の部分を委員の皆様にお配りし、ご説明を行おうと考えています。以下目次に掲げである通りの教育委員会の概要から各事業の説明・報告という形になっています。スケジュールについてですが、本日9月22日教育委員会にて、修正点等あればお教えいただき、修正をかけたのちに評価者3名による外部評価を実施したいと思っています。10月上旬に日程調整しながら、大田小と中央公民館で現地視察を行いたいと考えています。評価委員は3名で、龍善暢さん、三宅雅子さん、市村真一さんを予定しています。評価を受けた後に評価者の原稿をいただき、再度11月の定例教育委員会で報告をし、承認をいただけたらと思えます。その後市議会に12月定例会で全協説明を行います。

教育長
委員

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

(なし)

教育長
教育長

ではこの件については承認ということにいたします。

続きまして日程の5. その他報告事項です。平成29年度全国学力調査結果について学校教育室からお願いします。

和田室長

平成29年度全国学力調査結果について報告させていただきます。資料をご覧ください。

児童生徒の質問紙調査があり、職員への質問紙調査もあります。その中から今日お示ししておりますのは、全国の質問紙の回答と、大田市の回答を比較し、肯定的に評価したものが全国の値よりもかなり高いものの質問項目を掲げています。

小学校教員のアンケートについてです。教員の意識として、「学習規律の維持を徹底したか」「良い点や可能性を児童に伝えるなど積極的に評価したか」などの質問内容あげられていますが、ここに挙げられている項目が全て100%~90%となっており、先生方の意識としてはかなり肯定的な評価をいただいています。児童のアンケート結果も記載しています。大きくプラスの点を挙げていますが、そちらと比較したとき、子どもたちの意識の中では、「失敗を恐れないで挑戦している」「計画を立てて勉強している」「先生は分るまで教えてくれる」「地域行事には参加している」「人が困っている時は進んで助けている」「総合的な学習の時間に自分で課題・計画・情報収集・まとめをしている」「自分たちで立てた課題に、自ら考え、自分から取り組んでいる」「道徳の時間では自分の考えを深めたり話し合ったりする活動に取り組んでいる」の項目について、全国の値よりも10ポイント以上高くなっています。

マイナス面で挙がっている、「ボランティアに参加したことがあるか」「将来外国へ留学したり国際的な仕事についたりしてみたい」「算数の勉強は好きか」については、全国の値よりもやや低くなっています。

次に中学校教員のアンケートについてです。小学校よりも、中学校教員の方の方が授業に対しての肯定的な評価が多くありました。生徒の意識と教員の意識を比較すると、「学校の部活動に参加している」「学校に行くのが楽しい」「話し合いで自分と異なる意見に折り合いをつける等して話し合っている」「地域行事に参加している」「地域や社会で起こっている問題や出来事に感心がある」「総合的な学習で課題・計画・情報収集・まとめをしている」

「授業中自分の考えを発表する機会がある」「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたか」「授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っていた」の項目について、全国の値よりも高くなっています。中でも「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたか」については、教員のアンケートでも同一の質問があり、中学校の教員は100%と答えているのに対し、子どもたちも96%と答えています。特に中学校では「めあて・ねらいを明確にした授業」に取り組んでおられることがこの回答からわかりました。

マイナス面で挙がっている「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意か」「普通日に授業以外で1時間以上勉強するか」「家で学校の授業の予習をするか」「地域社会などでボランティアに参加したことがあるか」「将来、外国へ留学したり国際的な仕事についたりしてみたいと思うか」については、全国の値よりもやや低くなっています。

小学校・中学校に共通したプラス、マイナス点があることをこのアンケートから読み取り、このような分析をしました。なお、更に分析を進めておりますので、結果については同じくホームページ等で公表させていただく予定としています。以上です。

教育長
教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

意見交換会で、意識の部分をエッセンスにして保護者の方に説明できれば良いと思います。ポイントだけに行きがちですが、良い所や課題があることを伝えた方が、意見交換にプラスになるのではないかと思います。

福間委員

学力調査について見えてくることは、学校では様々な手当をしています。あとはどこが問題なのか、ここでも出てきているように、家庭だということが見えるので、家庭にどのような取り組みをしてもらいたいのか、またそれが現在の子どもの実態だということを、PTAの皆さんにどのように説明していくのか、学校はそれぞれ取り組みを行っているのかもしれませんが、親が集まる機会に話をしていくことが大事ではないかと思います。

和田室長

各学校には学力育成担当者がおり、学力育成担当者が毎年、年度初め年度末年度途中に2、3回開催されています。その方が集まり年度初めにテーマを決め、それぞれ共通したテーマに取り組み、年度末に成果を発表する形になっています。今年度はテーマ

を家庭学習とし、4月に会合をしました。その上で、各校で様々な取り組んでいただいているので、この結果を今年度末にまとめて、話し合いの中からさらに家庭に踏み込んで行ければ良いと考えています。

福間委員
和田室長
福間委員

P T A総会ではこのような話は出ないですか。

P T A総会で学力調査の話は出ません。

P T Aのそれぞれの学校の会長や、文化部の部長等がおられる際にこのような話をし、意識を高めてもらう必要もあるのではないかと思います。

教育長
福間委員
教育長

保護者にどう届けるかが課題になるかと思っています。

中学生など見ていると、向かうという意識が弱いように感じます。

小学校の算数の勉強が好きかという質問で、率が低くなっていますが、県も同じくらいでしたか。

和田室長
教育長

はい、同じくらいでした。

保護者に説明する際に、大田市固有の課題なのか、島根県全体の課題なのかを整理しておいていただくと嬉しいです。

川島課長

幼稚園の子ども子育て会議でも意見がありました。幼稚園でも保育所でも、一時預かりや延長保育などサービスが増えてきていますが、それを行えば行くほど親御さんが頼ってしまっています。一方ではサービスを提供し、余裕を持って子育てに向かってほしいということで、拡充していますが、やはりそのようなジレンマがあるようです。小さい時から親御さんと子どもの接し方をきちんとしてほしいのですが、なかなか難しいという意見がありました。

教育長
西村課長

社会教育の現場でも実感されている状況ですか。

そうですね。学校地域支援事業で地域の方とどう関わっていくのか、居場所という形でもともと盛んだったボランティアの方が一生懸命なところがありますので、家庭学習、親御さんの意識とどう結びついていくのか、別の問題としてあるかと思っています。

仲野委員

保護者が自分自身の学習に対して、どのような意識を持っているかという調査は、社会教育の調査では今までないですね。保護者自身が学ぶ意欲があれば、子どもに対しても意識が向くのではないかと思います。

西村課長

文化の計画の関係でアンケートを取り集計を行っていますが、子どもとの関わりや、子どもの学習に対しては踏み込んでいません。

- 仲野委員 世代別の図書館の利用や社会教育施設の利用についてはどうですか。
- 西村課長 図書館の利用についてはデータがありますが、それが学力学習状況の調査から見えてくる保護者の関係に結びつくものは、見えてこないと思います。
- 福間委員 P T Aの事業といえば学校支援などの形だけで、自ら学習や課題を持ち、追求していくということはないような気がします。
- 竹下委員 学習状況調査を説明会の際に説明することは今までなかったことなので、まず情報は提供しなければならないと思います。それからさらに、P T Aの方で研修や講演会に活かしていくことはあっても良いのではないかと思います。
- 梅枝委員 働く親の状況から考えると、親が家にいない間、子どもをどこで見てもらえるか、宿題をどう片付けるかを考えるのが精いっぱいのようなようです。学童保育も、場所によって過ごし方はそれぞれで、宿題をさせてもらって更にマルつけまでしてもらえるところはありがたいと思う保護者も少なくないようです。人任せであることは確かに問題ですが、時間も気持ちも余裕がないのが現実です。保護者にも学習についての意識を高めていく工夫が大切だと思います。企業側の理解も必要になってくるかもしれません。
- 教育長 その他ご質問等ありますか。
- 委員 (なし)
- 教育長 ではこの件については承認ということにいたします。
- 教育長 続きますして小学校外国語科及び外国語活動の実施について学校教育室からお願いします。
- 坂井主査 小学校外国語科及び外国語活動の実施について報告させていただきます。
- 資料をご覧ください。平成32年度から小学校新指導要領で学習することになります。その大きな柱の中に、外国語活動、また外国語科が入ることとされています。現状は5、6年生が外国語活動を35時間行っています。35というのは、週一コマと考えていただければ良いです。3、4年生については、外国語活動は行っていません。32年度には5、6年生が70時間、週に二コマの外国語科、3、4年生が35時間の外国語活動を行うことになっています。それに向けて、30年度と31年度に、どのようにしていくかという案が、資料に掲げてあります。

小学校を中心に説明させていただきます。

移行期間についてです。小学校の移行期間が平成30年、31年度中の5、6年生についてですが、現在35時間ですが、新たに年間15単位時間を加え、50単位時間を確保し、外国語活動の内容に加え、外国語科の内容を取り扱うことになっています。内容については、中学校との接続を十分考えた内容にするようになっています。

教材についてです。現在「Hi, friends!」という教材を使用していますが、それに加え文科省が準備する新教材を使用することになっています。

移行期間の3、4年生についてです。移行期間中に新たに年間15単位時間を確保し、外国語活動を実施することになっています。中学年については、高学年との接続の観点から最低限必要な内容を実施するとしています。

教材については、文科省が準備する新教材を使用することになっています。

プラス15時間を生み出すために移行期間の2年間に限り、総合的な学習の時間を使用しても良いとなっています。

表をご覧ください。移行期間に関わる児童生徒の、どのような段階を踏まえていくかを示した表です。

平成20年度生まれをご覧ください。現在小学校3年生、来年4年生になります。ここで15時間の外国語活動をするようになります。31年度になると5年生になり、35時間の外国語活動に加えてプラス15時間、トータル50時間の勉強をする形になります。32年度からの全面実施になると、70時間の勉強を小学校で行うことになります。

それぞれ移行期間に関わる子どもたちの、何時間学習をしていくかということについて表がありますので、そちらもご覧ください。なお文科省は、移行措置の15時間を加えることはもちろんですが、先行実施を見据えて行っても構わないとしています。15時間を上回る時間になるかと思います。

今後大田市としては移行期間をどのように取り組んで行くか等を学校にお示しし、良い移行期間の学習をしていただくように計画を進めているところです。以上です。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

福間委員 これについての加配はありますか。

坂井主査 ありません。

教育長 県や他の自治体でも加配は想定していません。現在の小学校教諭の皆さんに行っていただく形になります。ただし、ALTは在籍しているので、ALTをどう活用するかについては、それぞれの自治体で工夫しておられます。他の自治体ではALTではなく、現在お住まいの方で、英語の堪能な方を学習支援員のような形でつけている学校もあります。

教育長 その他ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

教育長 続きまして第18回難波利三ふるさと文芸賞応募状況について社会教育課からお願いします。

西村課長 第18回難波利三ふるさと文芸賞応募状況について報告させていただきます。8月31日を以て締切といたしました。全体に作品数は減っています。小学校7点、中高生で46点、一般の部268点、合計321点の応募がありました。江津の青陵中学校で先生が力を入れてくださっており、市外の応募のうち29点が青陵中学校からの応募となっています。小学校の方もお願いはしていますが、去年の半分以下の応募となりました。10月23日に最終審査を経て賞が決定し、12月9日土曜日に授賞式を行います。今年は石見銀山10周年ということで、世界遺産センターを会場に行う予定としています。以上です。

教育長 ありがとうございます。学校で夏休みの読書感想文や人権作文などもあり、何かと統合しないと抜本的な対策にはならないかもしれせん。

梅枝委員 中学校の審査をさせていただきましたが、江津の子どもと思われる作品が沢山あり、それはほとんどふるさと学習をしたことをもとに書いてありました。ふるさと学習をした集大成として、大田市内もそのような形で参加させれば良いと思いました。

教育長 その他ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

教育長 それでは、議題等は全て終了致しました。次回の定例会は10月25日です。よろしく申し上げます。

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成29年10月25日

作成者 総務課長補佐 森本学

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成29年10月25日

教育長 大國晴雄

委員 竹下ちとせ

委員 仲野義文

委員 梶 伸光

委員 梅枝奈保美

委員 福岡信隆

